



釈迦仏入滅。この暗く沈んだ世界に救世の光をもたらす未来仏・弥勒。東アジアで広く親しまれ、日本に深く浸透した弥勒は誕生の地ガンダーラから時空を超え、交易と仏教伝来の道シルクロードをたどってヒンドゥクシュを抜け、天山を越え、海を渡って遥か東方の日本に至っています。

6世紀、その中継地となったアフガニスタンのバーミヤンの磨崖に、像高55メートルの弥勒の大仏(西大仏)が刻まれ、多くの人々の信仰を集めていました。しかし、あいつぐ戦乱の中で、バーミヤンの仏たちは破壊され、往古の姿を失ってしまいました。

本展では、ガンダーラとアフガニスタンの弥勒菩薩像、スーパークローン文化財の技術をもって原寸大復元したバーミヤンE窟仏龕天井壁画の《青の弥勒》を中心に、スーパークローンの敦煌莫高窟275窟交脚弥勒菩薩像、バーミヤン東大仏天井壁画《天翔ける太陽神》、法隆寺金堂9号壁を一堂に会し、弥勒の道を辿ります。

本展は「東京藝術大学アフガニスタン特別企画展」(2015年)、「素心伝心 ―クローン文化財 失われた刻の再生」(2017年)に続く、文部科学省が推し進める「革新的イノベーション創出プログラム」事業の成果発表の場となる展覧会です。

開催概要 [会場] 東京藝術大学大学美術館3F
 [会期] 2021年9月11日―2021年10月10日
 休館日: 月曜日、9月21日(火)
 ※ただし9月20日(月・祝)は開館
 [開館時間] 10時―17時(入館は閉館の30分前まで)

オンライン国際シンポジウムも開催!

弥勒の道からのメッセージ

～スーパークローン文化財で甦ったバーミヤン「青の弥勒」は何を語るのか～

2021年
9月21日[火]
 13:00～16:30
 ※シンポジウムの詳細は公式サイトをご覧ください

チケット情報 一般: 1,000円
 大学生: 700円

※当日窓口販売のみ ※前売券の販売はありません
 ※高校生以下及び18歳未満、障がい者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

アクセス ○JR上野駅(公園口)、東京メトロ千代田線根津駅(1番出口)より徒歩10分
 ○京成上野駅(正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より徒歩15分
 ※当館には駐車場はございません。

お問合せ
 ハローダイヤル
 050-5541-8600

公式サイト
<https://www.mirokuten.com/>
 右のQRコードからもアクセスできます。



※本展は事前予約制ではありませんが、今後の状況により、変更及び入場制限等を実施する可能性があります。



写真: [表] バーミヤンE窟仏龕及び天井壁画《青の弥勒》想定復元 / 東京藝術大学 [裏] 敦煌莫高窟第275窟 弥勒菩薩交脚像 / 敦煌研究院文物数字化研究所制作、[2] 弥勒菩薩坐像 / 平山郁夫シルクロード美術館蔵、[3] 《青の弥勒》制作風景と模型 / 東京藝術大学